

## 穂高温泉郷しゃくなげ荘周辺整備検討委員会 会議概要

委員会名 第1回穂高温泉郷しゃくなげ荘周辺整備検討委員会
日 時 平成22年12月24日(金) 10:30~12:00
場 所 穂高総合支所 大会議室
出席者 腰原委員、川上委員、勝野委員、北澤委員、衛藤委員、河村委員、辻谷委員、 宇留賀委員、佐藤委員、臺委員
欠席者 塚田委員、土屋委員
市側出席者 宮澤市長、大内商工観光部長、高橋観光課長、赤羽観光施設係長、丸山(真)主査、 丸山(武)主査
公開・非公開の別 <u>公開</u> ・非公開
傍聴人 1名 記者 3名
協議事項等
1.会議概要
(1) 開会
(2) 市長あいさつ
(3) 委嘱書交付
(4) 自己紹介
(5) 検討委員会設置要綱及び役員の選出について 委員長：宇留賀委員 副委員長：北澤委員 事務局案により選出
(6) 安曇野市の観光の現状
(7) 協議事項 ①検討にあたっての方向性の確認
(8) その他
(9) 閉会
2.会議要旨
◇穂高地域を中心に、西山の良質な温泉を生かした観光事業を展開するにあたり、しゃくなげ荘周辺の整備に向けこのような委員会を設置した。 来年3月から始まるNHK連続ドラマ「おひさま」や11月に開通した梓川SAのスマートインターによる来訪者の増加をチャンスと捕らえたうえで、地域産業の活性化、観光客の受け入れ体制を整えていきたい。なお、温泉を活用した地域観光振興の繁栄には、医療及び健康との関わりを持った滞在型観光、農業体験を通じて日頃体感できない「癒し」を求めることのできる環境を整え、中長期的な観光を目指していきたい。 しゃくなげ荘、ヘルスハウスについては、あり方検討委員会において廃止の方向で答申されているが、この委員会においても再度検討していただき、官民協働の整備による複合的運営のもと、市の観光拠点となる場、市民の交流の場として良い方向性を導きだしていただきたい。(市長)
◇今後この委員会の方向性として、天然温泉と周辺の観光資源等を活用した観光の拠点及び市民の交流の場となる新たな拠点整備をしていきたい。具体的な検討事項として、天然温泉を利用した市民を含めた交流施設の建設、ピフ穂高・天蚕センターの活用に伴う施設一括集約化、観光情報発信拠点としての機能整備等を考えている。しゃくなげ荘周辺整備の促進及び地域活性

化を実現させるため、市の重要な財産と位置づけたうえで周辺整備の早期着手に結びつけたいと考えている。今後、委員の方々の様々な意見を取り入れて集約していきたい。(事務局)

◇H18年に市総合計画の策定に伴い将来の課題として、しゃくなげ荘周辺整備の検討がなされたのが始まりである。しゃくなげ荘というネームブランドを守りたいとのことで宿泊施設として改築すべきとの意見も出されたが、H21年には点在した宿泊施設も含め観光の拠点として発展させなければならないと考え、市の財政が厳しい面も踏まえ日帰り入浴施設でもやむを得ないのではないかと方向性が出された。そのうえで、観光を重要な施策として推進していくためには、しゃくなげ荘周辺整備を早期に着手すべきであるとの意見に達しているのが穂高地域審議会でもとめた市長への答申である。今後、ピフ穂高・天蚕センター・アートヒルズ・満願寺等の周辺施設の整備、山麓線沿いの道路整備も含め、複合的な整備及び運営を検討していきたいと考える。(委員)

◇老朽化したしゃくなげ荘を住民の方々はどのように捕らえているのかという観点で利用者側からの意見として考えてみたい。施設を安心・安全の現状を見てみると経費的に見合わないのではないかとと思われる。今回の委員会には委員の方々も肩書き抜きで一市民の立場で話し合いに参加していただくことが大切だと感じる。箱物整備だけでは人は集まらないので地域に根ざした「安曇野らしさ」「安曇野ならでは」の気持ちを持ち続けながら検討していただきたい。連続ドラマの活用については、アクセス問題や自然環境問題等慎重に取り組む必要があるのでその点についても十分検討いただきたい。(委員)

◇観光情報発信の面で「安曇野」は、すでにブランド化されているので有意義に活用してもらいたい。地域に密着した施設を建設しなければうまくいかない。そのためには箱物自体にこだわっているのではなく、空間スペース(敷地)を有効活用していく必要がある。地域でうまく活用されることが情報として広がり、さらに市外からの観光誘客に繋がっていくものである。「安曇野」という言葉のブランドを意識しながら今後検討していただきたい。(委員)

◇箱物を否定することから入るのではなく、現状の施設等を把握しながら見直していただきたい。新たに入浴施設として考えるのであれば、周辺の宿泊施設の受け入れ体制等を十分整備したうえで検討する必要があると考えるうえで今後の会議に参加していきたい。(委員)

◇この課題については旅館組合でも十分検討していきたい。どこの宿泊施設もリニューアルしたいとは思っている。苦戦しているが現状で宿泊業者も頑張っており、なんとか盛り立てようと努力している。次回は意見を集約してきたうえで発言したい。(委員)

◇現在、道の駅のような施設が数多くありリピーターも多数いることも聞いている。しゃくなげ荘周辺もそのような施設を目指して建設できれば良いと考える。地域住民として、人々が集まる憩いの場、コミュニケーションの場として整備できればありがたいと思う。この課題を地元地区へ持ち帰り調整のうえ今後の会議で意見を述べたい。(委員)

◇良質な温泉を活用していくことで、地域が潤い周辺の宿泊業者も活気づくものと思われるので、温泉施設の活用化について慎重に考えていきたい。(委員)

◇自分も有明で旅館業を営んでいるが、地域発展に貢献できるかたちでこれからの会議に望みたいと思う。(委員)

◇第1回ということで、顔合わせを含め今後検討する内容の方向性の確認をさせていただいた。次回からは具体的に検討していきたい。(委員長)

次回 平成23年1月19日の予定

